

2014年9月9日

**電通、世界陸上を含む国際陸上競技連盟（IAAF）主催大会の
2020年～2029年までの世界独占マーケティング権および放送権を取得**

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：石井 直）は、国際陸上競技連盟（以下、「IAAF」）^{※1}が2010年から2019年までに主催する大会の全世界におけるマーケティング権およびインターネットを含む放送権（欧州放送連合地域における放送権は除く）をすでに取得していますが、このたび2020年から2029年までの同権利についても、継続して取得することでIAAFと合意いたしました。これにより電通は、2001年からIAAF主催大会のマーケティング権および放送権を29年間にわたって取得したことになります。

IAAF主催大会の権利は、世界陸上^{※2}などを含むワールドアスレチックシリーズ（WAS^{※3}）のマーケティング権および放送権から構成されています。

今後、電通とIAAFは、陸上競技のさらなる世界的な普及を目指して、両者で新たなマーケティング・プログラムの開発・向上に取り組んでまいります。

以 上

※1 国際陸上競技連盟（IAAF：International Association of Athletics Federations）／1912年に創設された世界の陸上競技に関する最高決定機関（本部はモナコ公国）。会長はセネガル出身のLamine Diack（ラミン・ディアック）。

※2 世界陸上／正式名称は、IAAF世界陸上競技選手権で、2年ごとに開催。現状2015年北京大会、2017年ロンドン大会まで決定しており、それ以降は未定。2019年大会については、2014年秋に開催されるIAAF理事会で決定される予定。

※3 ワールドアスレチックシリーズ（WAS）（カッコ内は開催予定年）

世界陸上競技選手権（2021、2023、2025、2027、2029）

世界室内陸上選手権（2020、2022、2024、2026、2028）

コンチネンタルカップ（2022、2026）

世界ジュニア選手権（2020、2022、2024、2026、2028）

世界ユース選手権（2021、2023、2025、2027、2029）

世界クロスカントリー選手権（2021、2023、2025、2027、2029）

世界ハーフマラソン選手権（2020、2022、2024、2026、2028）

ワールドカップ競歩（2020、2022、2024、2026、2028）

ワールドリレー（未定）